



七尾市立七尾中学校学校便り

令和3年3月1日

# なにくそ

第22号

## 我が道に 刻む「なにくそ」 春の朝

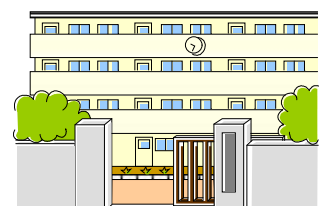


3年生のみなさんは中学校の課程を卒業する時を、1・2年生の皆さんはそれぞれの学年の課程を修了する時を迎えようとしています。そして4月からは次のステージに進学・進級し、それぞれが選んだ道を歩き始めます。

新型コロナウイルス感染症対応による臨時休業で始まった令和2年度。4月、5月と2か月間の休業後、県内で一番遅い入学式を6月1日に迎えることができました。

各種大会やコンクール、そして修学旅行やバス遠足が中止となり、皆さんには大変さみしい思いを多々させたことと思います。しかし皆さんはうつむいて静かに涙を流しつつも、一言の不満や愚痴を言うことはありませんでした。それどころか、体育祭や文化祭に替わる新たな「七尾中フェスティバル」を企画運営して、新たな歴史を残してくれました。まさに、しなやかにコロナに立ち向かい、そしてたくましく生き抜く力を身に付けてくれたと思います。

これからどんな困難に直面しようとも、コロナ禍で培った心で、逃げ出さず、立ち止まらず、弱い自分に打ち勝つ『なにくそ』魂で、予測困難な未来をたくましく、しなやかに生き抜いてください。



我が道に 刻む「なにくそ」 春の朝

## 校章に込められた思い！



平成29年4月1日、御祓中学校、朝日中学校、田鶴浜中学校の3校が統合し、七尾市立七尾中学校が創立しました。そして七尾中学校開校に関わった方々の思いを込めた校章が左図です。

「藤の花」を上向きにすることで、『向上心』と『前進する姿』を願い、七尾（NANA O）の頭文字である『N』を稲妻型にすることで、『躍動感』を表現しています。

「藤の花」の花言葉は「welcome（歓迎）、tender（優しさ）、steadfast（確固たる）」です。「実るほど頭をたれる稲穂かな」とことわざにありますが、謙虚さの大切さを稲にたとえて説いた教えのことで、「下がるほど人が見上げる藤の花」ということわざもあります。謙虚でいるほどその立派さがたたえられるという意味です。校章に込められたこれらの思いを今一度胸に刻み、一人一人の決意を実践に移しましょう。

## 1年間、ありがとうございました。

保護者の皆様、地域の皆様には令和2年度の七尾中学校の教育活動に、ご支援ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

来年度も生徒一人ひとりが安心して学ぶことができ、自己実現に向けてひたむきに努力する生徒の笑顔があふれる七尾中学校をめざしていきます。よろしくをお願いします。

**生徒の笑顔に 皆さまのお力を！**

～ 親と子のなんでも電話相談 ～

**オアシスライン**

対象：小中学生及びその保護者  
相談内容：悩んでいること、困っていること  
\* 匿名でのお電話で構いません。秘密は守ります。



電話 (0767) 52-0783  
受付時間13:00～16:00  
(月曜～金曜)

※七尾中ホームページに各種おたよりや行事予定を公開しています。ご覧下さい。